

## 復興庁の令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰 顕彰式開催 来場申込受付のご案内

復興庁では、令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰の顕彰式を来る2月14日（金）、「仙台サンプラザ」（宮城県仙台市）にて開催される「新しい東北」交流会プログラムの一環として下記の通り実施いたします。

この「新しい東北」復興・創生顕彰は、被災地の抱える課題を克服、地方創生のモデルとなる取組を行い、大きな貢献をされた個人や団体を顕彰するもので、平成28年に始まり今回4回目を迎えます。本年度は全国から応募された計147件の中から岩手県、宮城県、福島県の3県から9件の取組が選定されました。

顕彰式は無料でどなたでもご参加頂けます。来場ご希望の方は、下記「新しい東北」交流会公式HPの申込フォームから、事前にご登録いただきたく、ご案内いたします。

### － 記 －

日時：令和2年2月14日（金）13:00～13:45

会場：「仙台サンプラザ」3階クリスタルルーム  
（宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目11-1）

※「新しい東北」交流会（10:00～18:00）内において顕彰式を行います。

顕彰受賞者：9組（3P参照）

※「新しい東北」復興・創生顕彰公式HP <https://www.newtohoku.org/kenshou/index.html>

来場申込方法：

「新しい東北」交流会公式HP <https://www.newtohoku.org/networkmeeting/index.html>  
申込フォームよりお申し込みください。

#### ■ 当件に関するお問い合わせ先

「新しい東北」復興・創生顕彰運営事務局（株）ヒューマンメディア内）

担当：小野打（おのうち）・山本 TEL：03-6328-0223 Mail：newtohoku@humanmedia.co.jp

<参考資料>

## 「新しい東北」交流会 ～東北の未来を考えよう～

### ◆開催概要◆

◇日時 令和2年2月14日（金） 午前10時～午後6時

◇会場 仙台プラザ 2-3階

宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1

◇主催 「新しい東北」官民連携推進協議会（事務局：復興庁）

◇プログラム：詳細は「新しい東北」交流会公式 HP <https://www.newtohoku.org/networkmeeting/index.html>

時間	プログラム	会場
9:30		・開場
10:00-13:00	・多様な主体と行政の協働による復興支援活動の検証～中間支援機能を中心に～ 経過報告&ラウンドテーブル	・調査報告 ・パネルディスカッション ・グループディスカッション
11:00-16:00	・被災地で活動する事業者・団体の取組紹介、商品の試食や販売。	・ブース展示
12:30-13:40	・被災地（東北）の未来に向けた組織づくり×人づくり	・講演 ・ワークショップ
13:00-14:40	・「新しい東北」復興・創生顕彰 ・「企業による産業復興事例」顕彰 ・顕彰受賞者による活動紹介	・顕彰式
14:00-16:00	・小規模企業のための販路拡大支援～地域経済の未来を拓こう～	・セミナー ・パネルディスカッション
14:10-15:10	・クラウドファンディングでもっと広がる！東北の未来の可能性	・事業説明 ・パネルディスカッション
15:00-15:40	・復興から地方創生へ～東北の魅力を生かしたまちづくり～ 講師：藻谷浩介氏	・基調講演
15:45-16:55	未来の東北のためにできること モデレーター：藻谷浩介氏 パネリスト： 島根県雲南市政策企画部 部長佐藤 満氏 特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター理事長（岩手県陸前高田市）三浦 まり江氏 ペンターン女子（宮城県気仙沼市）根岸 えま氏 株式会社 夜明け市場（福島県いわき市）代表取締役 鈴木 賢治氏	・パネルディスカッション
15:25-16:55	・男女共同参画の視点を生かして、東北の未来を考える	・基調講演 ・パネルディスカッション

## 令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰受賞者一覧

<b>団体名（敬称略）</b>	<p>「町民による町の新聞」を目指し、2012年から代表1人で地域の復興情報取材、編集、週刊発行。2019年4月から町内全戸無料配布再開。</p>	
一般社団法人 大槌新聞社		
<b>所在地</b>		
岩手県大槌町		
<b>団体名（敬称略）</b>	<p>末崎町の災害公営住宅で高齢者や一人暮らしを支援、見守りや交流・つながりのための場を常時開放し、食堂、朝市、農園など運営。</p>	
特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト		
<b>所在地</b>		
岩手県大船渡市		
<b>団体名（敬称略）</b>	<p>「世界で一番面白い街を作ろう」と、カフェやコミュニティスペースの運営、近隣市町共同の移住促進事業等、様々な視点から街づくりを推進。</p>	
一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0		
<b>所在地</b>		
宮城県石巻市		
<b>団体名（敬称略）</b>	<p>仮設から復興住宅に移転した住民のための参画型のサロン・イベントの開催、ボランティアとの交流で、コミュニティの自立を支援。</p>	
特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク		
<b>所在地</b>		
宮城県石巻市		

<b>団体名（敬称略）</b>	唐桑半島に移住等した女性たちがシェアハウスで暮らしながら地域活動に参加。半島ならではの暮らしの魅力を、移住のモデルとしてブログで発信。	
半島移住女子 「ペンターン女子」		
<b>所在地</b>		
宮城県気仙沼市		

<b>団体名（敬称略）</b>	世代や立場を超えた対話と学びの場づくりや、障害者と地域の人たちが共に町の魅力を発信するアート制作に取り組み、「新しい山元」の創生を目指し活動。	
特定非営利活動法人 ポラリス		
<b>所在地</b>		
宮城県山元町		

<b>団体名（敬称略）</b>	震災により避難で福祉サービス利用が困難となった障害者を受け入れ、福島県内の福祉事業所が連携・協働する体制を構築。	
特定非営利活動法人 しんせい		
<b>所在地</b>		
福島県郡山市		

<b>団体名（敬称略）</b>	県内54の農家が、風評被害対策のためネットショップ・直販・農業体験の受入に積極的に取り組み「新しい流通」をつくろうとしている。	
特定非営利活動法人 がんばろう福島、 農業者等の会		
<b>所在地</b>		
福島県二本松市		

<b>団体名（敬称略）</b>	原発事故による避難以降、町内開催が困難にになった双葉町ダルマ市を、故郷を離れた町民がつながる場として、いわき市で毎年開催。	
町民有志の会 「夢ふたば人」		
<b>所在地</b>		
福島県双葉町		

※都道府県別、五十音順による記載